

まんが子ども太平洋戦争物語

# 炎に包まれた 映画の夢

長岡空襲物語

画・石川森彦



ものがたり はいけい  
この物語の背景となった  
おもなできごと

- 1931年(昭和6年) ● 満州事変が起こる。  
まんしゅうじへん お
- 1933年(昭和8年) ● 日本が国際連盟を脱退する。  
にほん こくさいれんめい だつたい
- 1937年(昭和12年) ● 日中戦争が始まる。  
にっちゅうせんそう
- 1939年(昭和14年) ● 第二次世界大戦が始まる。  
だいに じせかいたいせん
- 1941年(昭和16年) ● 太平洋戦争が始まる。  
たいへいようせんそう
- 1942年(昭和17年) ● 日本本土がはじめて空襲される。  
にほんほんど くうしゅう
- 1945年(昭和20年) ● 東京などが大空襲にあう。  
とうきょう だいくうしゅう  
ひろしま ながさき げんしげくだん お
- 広島・長崎に原子爆弾が落とされる。  
にほん げんげん
- 日本はポツダム宣言を受け入れて降伏する。  
にほん ぽつだむせんげん せいふく



本間春美

哲男の姉  
17歳(昭和20年)



遠藤武

真作のいとこ  
12歳(昭和20年)



本間知子

哲男の妹  
10歳(昭和20年)



本間哲男

この物語の主人公  
12歳(昭和20年)



東真作

哲男の親友  
12歳(昭和20年)



真作のいとこ  
12歳(昭和20年)



哲男の妹  
10歳(昭和20年)



この物語の主人公  
12歳(昭和20年)







昭和十九(一九四四)年  
四月



加藤隊長は  
やっぱすごい  
や!

東京でも  
すごい人気  
なんだぞ!

くらえ!  
なにをーっ!

はあ

《映画》

戦争映画  
ばかりだった

戦争中に上映されていた映画は、軍隊の活やくを描いたものがほとんどでした。このような映画は、国民が戦争に協力する気持ちになるように、という目的でつくられました。

「加藤隼戦闘隊」、「マレー戦記」などの戦争映画を見て飛行機乗りや兵隊にあこがれる子どもたちがたくさんいました。



昭和十九年に公開された「陸軍」の一場面  
「陸軍」監督／木下恵介(1944年・松竹)



武は親戚の東家を頼って  
東京から縁故疎開していた

はい

武くん  
東京は空襲  
だいじょうぶ  
かい?

はい



真ちゃんとは  
大ちがい...



戦争が  
はげしくなっ  
てるからな

映画もあまり  
見られなく  
なるな



真ちゃん...



戦争映画  
ばかりだね

どうしたの?



疎開先で戦う訓練をする子どもたち

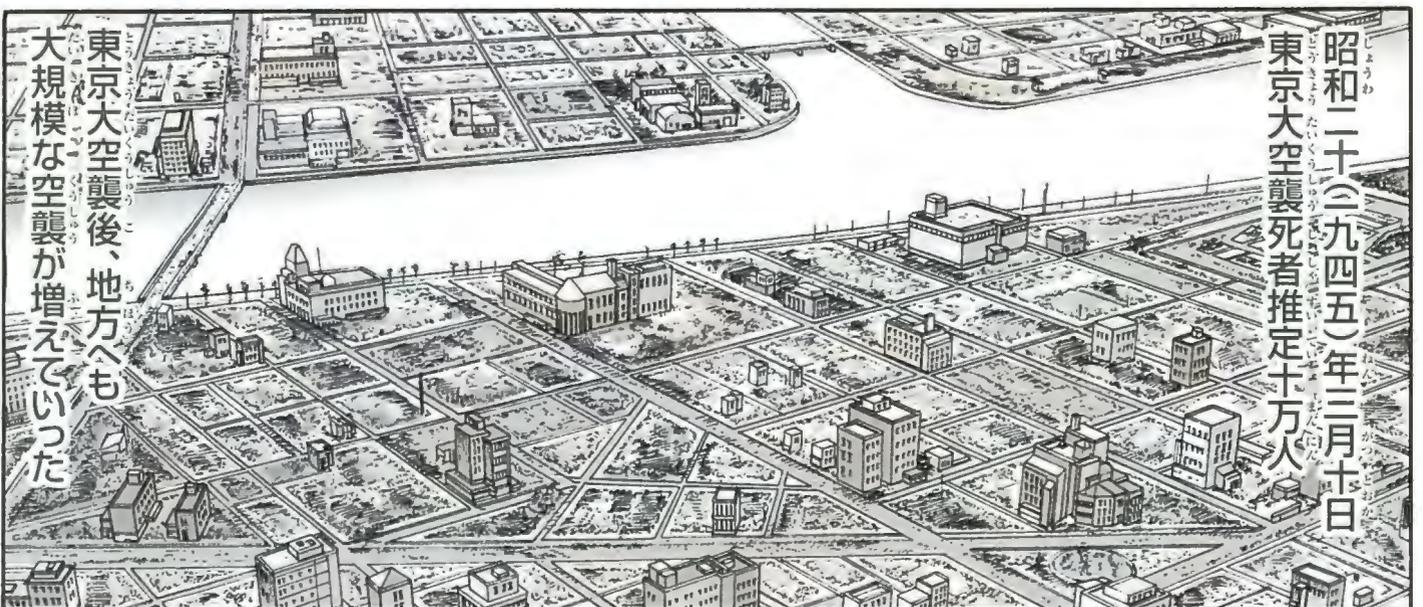
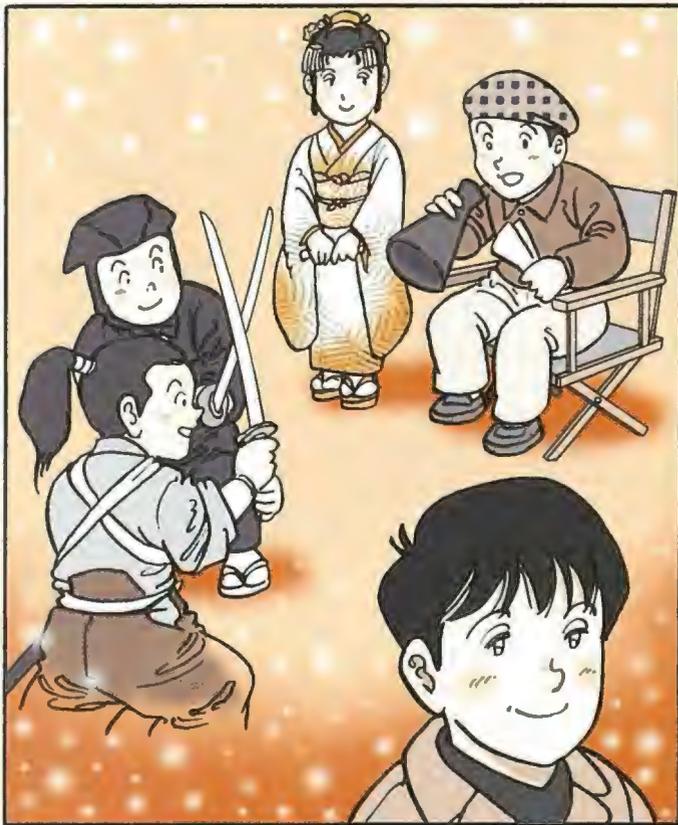
戦争がはげしくなると、都会の子どもたちを空襲から守るために、地方へひなんさせました。これを「疎開」といいます。  
疎開先では家族とはなれて生活しなければならなかった上に、十分な食事ができなかったり、いじめにあつたりしました。さらに、戦争のための訓練や畑仕事があつたので、子どもたちはつらい思いをしました。

《疎開》  
つらい思いをした  
子どもたち



昭和十九年十二月



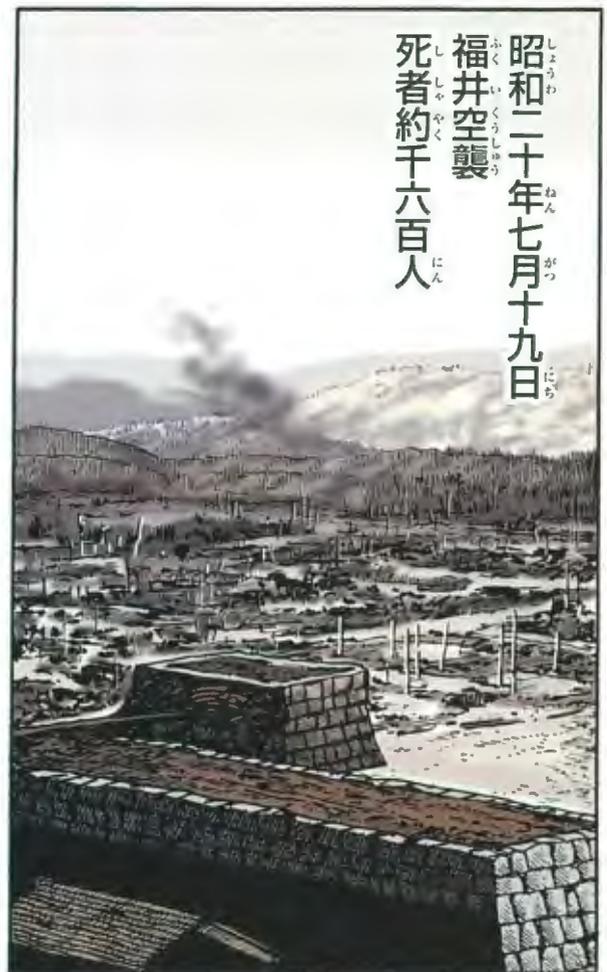




昭和二十年六月十八日  
 浜松大空襲  
 死者約三千五百人



そして  
 昭和二十年七月二十日



昭和二十年七月十九日  
 福井空襲  
 死者約千六百人

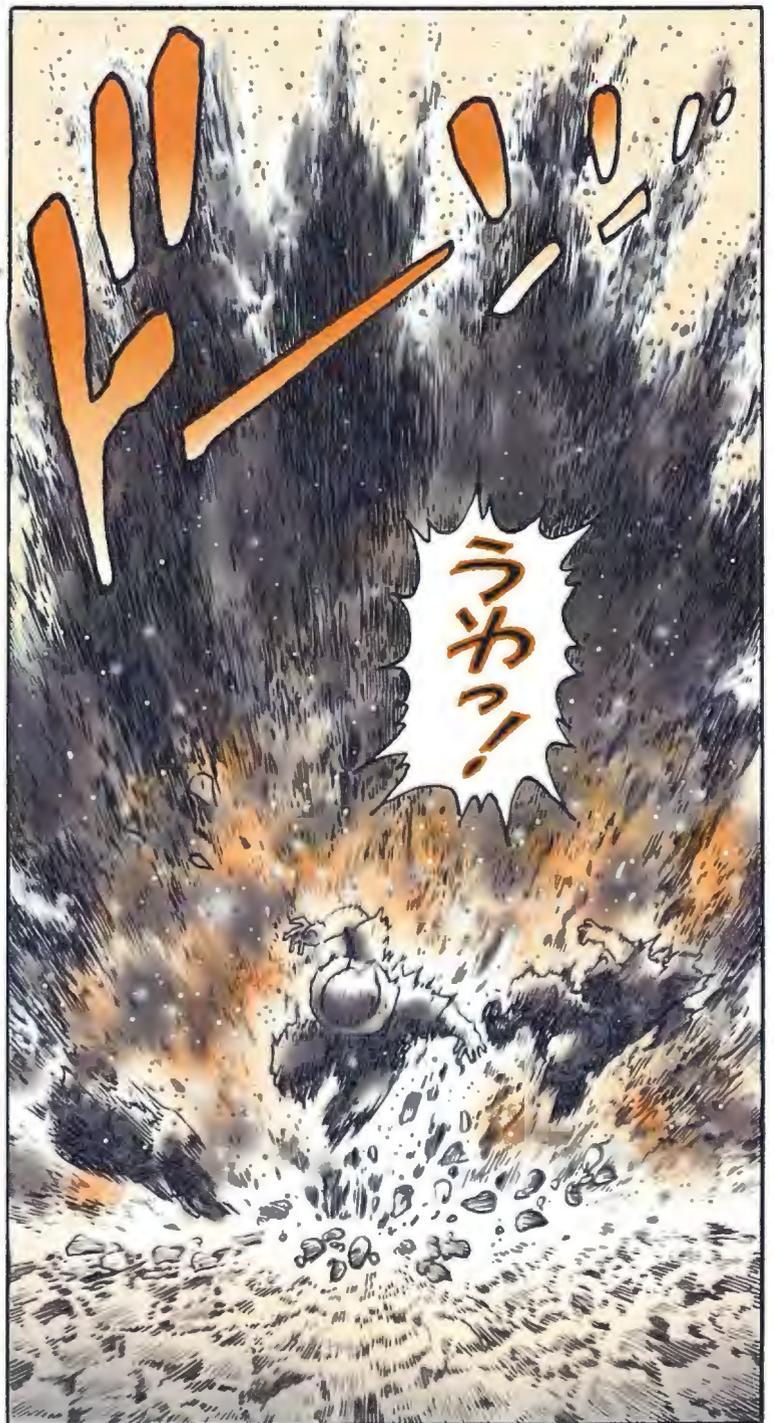


大阪も焼け野原になった  
 (現在の大阪市都島区)

《空襲》

日本中が  
 焼け野原になった

太平洋戦争では日本の各地が空襲され、町中が焼夷弾で炎につつまれました。神戸や浜松など武器をつくる工場がある町や東京や大阪など人口が多い都市は、特に大きな空襲を受けました。一度だけではなく、何度も空襲を受けるところもあります。空襲でなくなった人の数は全国で五十万人にものぼりました。





さつまいもごはん(当時の食事の再現)

さらに戦争がはげしくなると、野菜も手に入らなくなり、道ばたに生えた野草まで料理して食べることもありました。

戦争中は食べ物がとても少なくなっていました。肉や魚だけでなく米もあり手に入らず、汁ばかりのぞうすい、さつまいもや豆などませたごはんを食べていました。

《食糧》  
いつもおなかをすかせていた

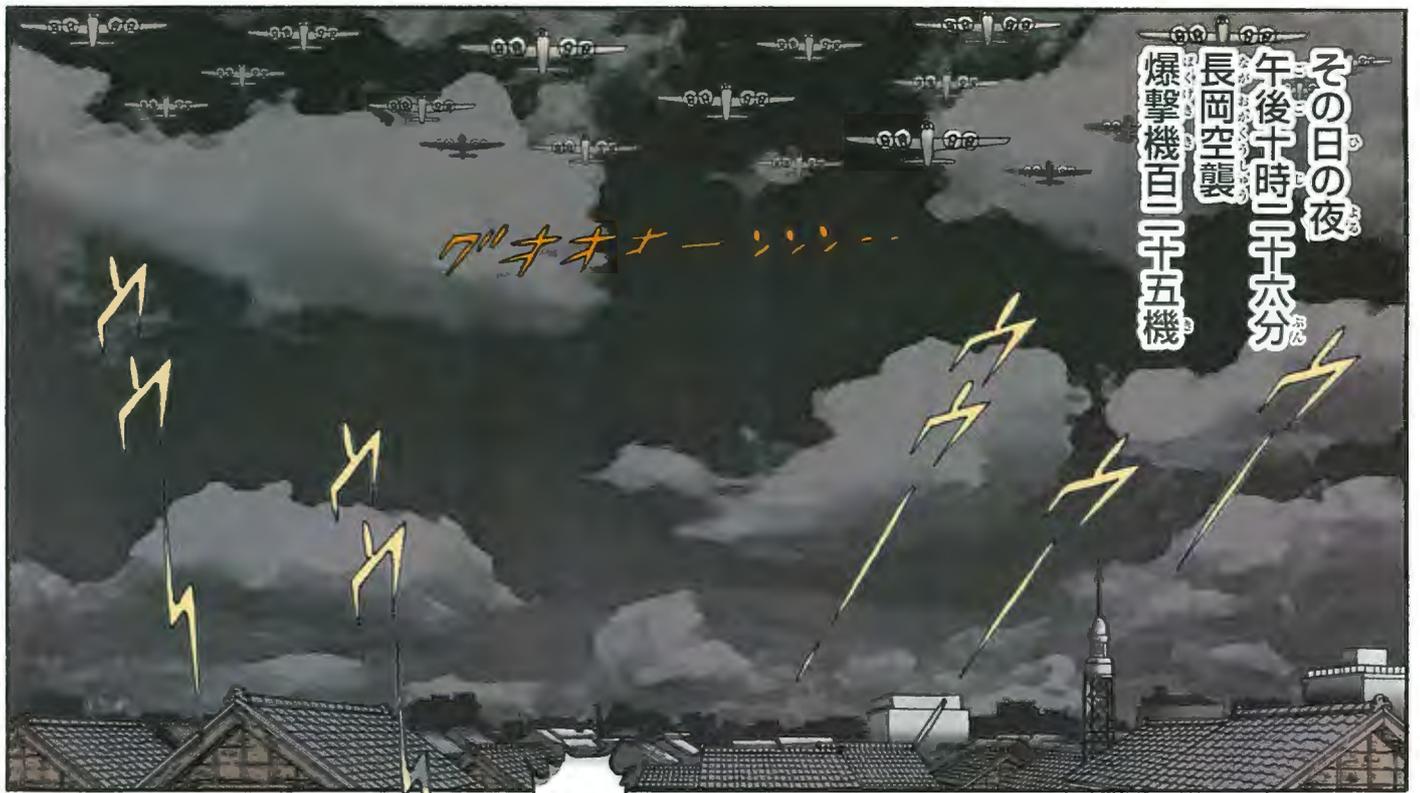


勉学中の学生も戦地へ送られた

《学徒出陣》  
大学生も戦争へ行った

戦争がはげしくなると、卒業まで兵隊になることを待ってもらえた大学生も、戦地に行かなくてはならなくなりました。兵隊が足りなくなってしまうのです。  
まだわかい男の人が大ぜい戦争で命を落とすことになりました。





その日の夜  
午後十時二十七分  
長岡空襲  
爆撃機百二十五機

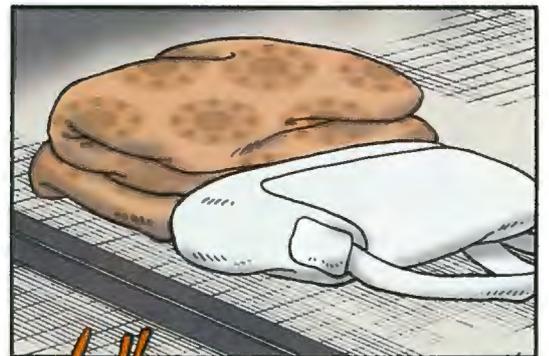
ゴオオナーッソッソッ



知子  
おいで!

姉ちゃん!

母ちゃん!



はっ!



いり豆、梅干しなどの非常食も入れた  
(当時の食糧の再現)

でも、空襲のときは何も持ち出せずに家を飛び出した人も多かったようです。

《非常ぶくろ》  
いつでもにげられる準備

どの家庭でも、いつ空襲がきてもにげられるように「非常ぶくろ」を用意していました。ふくろの中には、いり米、水、塩、おわん、はし、マッチ、ろうそく、下着のほか、配給手帳、預金通帳、はんこなどを入れておきました。



わあーっ

きゃあーっ



ああーっ



H神社の  
防空壕に  
早く!



哲男!

知子  
をお願い!

母ちゃん  
荷物はいいから  
早く!





わあっ!



お母ちゃん



お姉ちゃん!



ゴオオオオオ





カッパッ

カッ

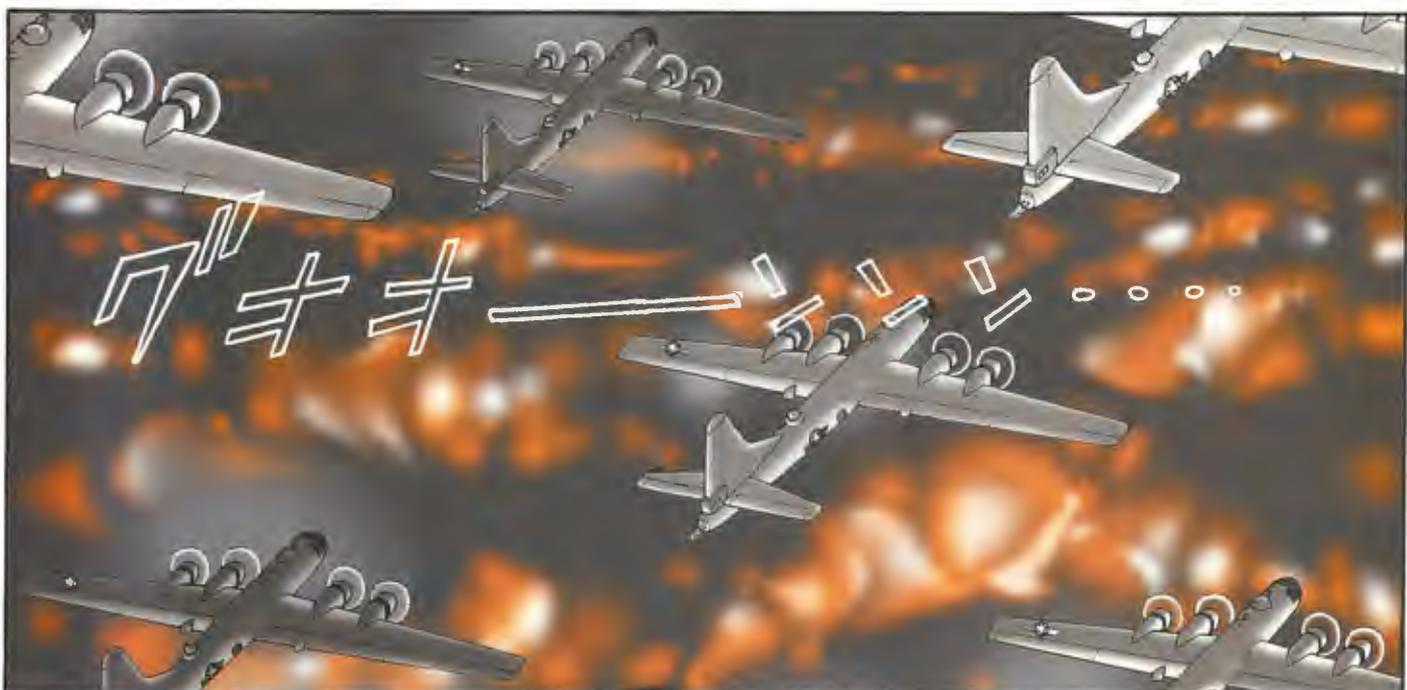
カッ

わっわわ...

うわああー









あたり一面焼け野原となった長岡

### 《長岡空襲》 長岡のほとんどが 焼けた

昭和二十(一九四五年)八月一日の夜、長岡市は空襲を受けました。この空襲で、長岡市のほとんどが焼け野原となり、千四百人以上がなくなりました。平潟神社の防空壕では一度に二百六十八人が焼け死んだと記録されています。

長岡戦災資料館では多くの資料を展示して、戦争の悲惨さを伝えています。









想いをこめて灯ろうを流す人々

《長岡まつり》  
六十年以上続く  
戦災復興祭

ながおが  
長岡まつりは長岡空襲  
の一年後、昭和二十二年(一九  
四六)年八月一日に「長岡  
市戦災復興祭」として始  
まりました。毎年、八月一日  
には戦争でなくなった人  
たちをなぐさめる灯ろう  
流しが行われています。

また、二日、三日の花火  
大会には県外からも毎年  
たくさんの方がおとずれ  
ています。







### ■子どもたちも武器をつくった

働き手の男の人が戦場へ行ったあとは、子どもたちも工場で武器などをつくる手伝いをさせられました。



### ■恐怖をあおった空襲予告のビラ

米軍は、空襲を予告するビラを飛行機から投下しました。人々の戦う気持ちを失わせようとしたのです。ビラをまかれた地域の人々は空襲におびえました。



### ■木から布をつくった

戦争中は物が不足していました。服をつくる材料も少なかったのです。人々は木のせんいをつむぎ布をおるなど、工夫して生活に必要なものをつくりました。



### ■わずかな食糧に長い列

戦争がはげしくなるにつれて、生活用品や食糧も自由に買えなくなりました。何時間ならんでも、手に入る食糧は決して多くはありませんでした。

## 戦争写真館



### ■長岡出身の山本五十六

山本五十六は長岡市で生まれ育ち、海軍兵学校を卒業しました。昭和16年12月8日、連合艦隊司令長官として真珠湾攻撃の命令をくれました。昭和18年4月18日ブーゲンビル島上空でアメリカ軍の攻撃にあい、戦死しました。

# 空襲などに あった おもな町

1942(昭和17)年の4月から戦争が終わった1945(昭和20)年の8月までのあいだ、日本国内の以下のような町が空襲や艦砲射撃などを受けました。そして、その多くの町が何回も空襲を受けました。このほかにも規模の小さなもの、軍の施設が爆撃されたものなど、実際にはもっと多くの町が空襲や艦砲射撃などを受け、全体で50万人以上〔注1〕の一般市民が亡くなりました。

平成19年12月現在

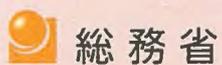
<ul style="list-style-type: none"> <li>●北海道</li> <li>函館市</li> <li>小樽市</li> <li>苫小牧市</li> <li>網走市</li> <li>留萌市</li> <li>旭川市</li> <li>室蘭市</li> <li>釧路市</li> <li>帯広市</li> <li>根室市</li> <li>本別町</li> <li>●青森県</li> <li>青森市</li> <li>八戸市</li> <li>●岩手県</li> <li>盛岡市</li> <li>花巻市</li> <li>釜石市</li> <li>宮古市</li> <li>一関市</li> <li>●宮城県</li> <li>仙台市</li> <li>石巻市</li> <li>塩釜市</li> <li>●秋田県</li> <li>秋田市</li> <li>●山形県</li> <li>酒田市</li> <li>●福島県</li> <li>福島市</li> <li>郡山市</li> <li>いわき市</li> <li>●茨城県</li> <li>水戸市</li> <li>日立市</li> <li>土浦市</li> <li>高萩市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栃木県</li> <li>宇都宮市</li> <li>足利市</li> <li>栃木市</li> <li>鹿沼市</li> <li>●群馬県</li> <li>前橋市</li> <li>高崎市</li> <li>桐生市</li> <li>伊勢崎市</li> <li>太田市</li> <li>●埼玉県</li> <li>さいたま市</li> <li>川越市</li> <li>熊谷市</li> <li>川口市</li> <li>●千葉県</li> <li>千葉市</li> <li>銚子市</li> <li>船橋市</li> <li>館山市</li> <li>木更津市</li> <li>松戸市</li> <li>市川市</li> <li>●東京都</li> <li>区部</li> <li>八王子市</li> <li>立川市</li> <li>武蔵野市</li> <li>●神奈川県</li> <li>横浜市</li> <li>川崎市</li> <li>平塚市</li> <li>藤沢市</li> <li>小田原市</li> <li>横須賀市</li> <li>鎌倉市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県</li> <li>新潟市</li> <li>長岡市</li> <li>●富山県</li> <li>富山市</li> <li>高岡市</li> <li>●福井県</li> <li>福井市</li> <li>敦賀市</li> <li>●山梨県</li> <li>甲府市</li> <li>●長野県</li> <li>長野市</li> <li>上田市</li> <li>●岐阜県</li> <li>岐阜市</li> <li>大垣市</li> <li>●静岡県</li> <li>静岡市</li> <li>浜松市</li> <li>沼津市</li> <li>磐田市</li> <li>三島市</li> <li>伊東市</li> <li>島田市</li> <li>●愛知県</li> <li>名古屋市</li> <li>豊橋市</li> <li>岡崎市</li> <li>一宮市</li> <li>瀬戸市</li> <li>豊川市</li> <li>半田市</li> <li>春日井市</li> <li>津島市</li> <li>●三重県</li> <li>津市</li> <li>四日市市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢市</li> <li>桑名市</li> <li>伊賀市</li> <li>鈴鹿市</li> <li>松阪市</li> <li>●滋賀県</li> <li>大津市</li> <li>彦根市</li> <li>長浜市</li> <li>●京都府</li> <li>京都市</li> <li>舞鶴市</li> <li>●大阪府</li> <li>大阪市</li> <li>堺市</li> <li>豊中市</li> <li>高槻市</li> <li>吹田市</li> <li>東大阪市</li> <li>守口市</li> <li>岸和田市</li> <li>池田市</li> <li>泉大津市</li> <li>枚方市</li> <li>●兵庫県</li> <li>神戸市</li> <li>姫路市</li> <li>尼崎市</li> <li>明石市</li> <li>西宮市</li> <li>芦屋市</li> <li>伊丹市</li> <li>相生市</li> <li>●奈良県</li> <li>奈良市</li> <li>●和歌山県</li> <li>和歌山市</li> <li>海南市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有田市</li> <li>御坊市</li> <li>田辺市</li> <li>新宮市</li> <li>串本町</li> <li>那智勝浦町</li> <li>●鳥取県</li> <li>米子市</li> <li>●岡山県</li> <li>岡山市</li> <li>玉野市</li> <li>●広島県</li> <li>広島市</li> <li>呉市</li> <li>福山市</li> <li>●山口県</li> <li>下関市</li> <li>宇部市</li> <li>山口市</li> <li>周南市</li> <li>防府市</li> <li>下松市</li> <li>岩国市</li> <li>山陽小野田市</li> <li>光市</li> <li>●徳島県</li> <li>徳島市</li> <li>●香川県</li> <li>高松市</li> <li>●愛媛県</li> <li>松山市</li> <li>今治市</li> <li>宇和島市</li> <li>八幡浜市</li> <li>新居浜市</li> <li>●高知県</li> <li>高知市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡県</li> <li>北九州市</li> <li>福岡市</li> <li>大牟田市</li> <li>久留米市</li> <li>●佐賀県</li> <li>佐賀市</li> <li>●長崎県</li> <li>長崎市</li> <li>佐世保市</li> <li>島原市</li> <li>諫早市</li> <li>大村市</li> <li>●熊本県</li> <li>熊本市</li> <li>荒尾市</li> <li>宇土市</li> <li>八代市</li> <li>人吉市</li> <li>水俣市</li> <li>●大分県</li> <li>大分市</li> <li>別府市</li> <li>中津市</li> <li>日田市</li> <li>佐伯市</li> <li>●宮崎県</li> <li>宮崎市</li> <li>延岡市</li> <li>日南市</li> <li>日向市</li> <li>都城市</li> <li>高鍋町</li> <li>●鹿児島県</li> <li>鹿児島市</li> <li>薩摩川内市</li> <li>いちき串木野市</li> <li>阿久根市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指宿市</li> <li>霧島市</li> <li>西之表市</li> <li>垂水市</li> <li>鹿屋市</li> <li>枕崎市</li> <li>日置市</li> <li>奄美市</li> <li>南九州市</li> <li>始良町</li> <li>加治木町</li> <li>●沖縄県〔注2〕</li> <li>那覇市</li> <li>名護市</li> <li>沖縄市</li> <li>浦添市</li> <li>糸満市</li> <li>宮古島市</li> <li>石垣市</li> <li>うるま市</li> <li>本部町</li> <li>嘉手納町</li> <li>西原町</li> <li>与那原町</li> <li>南風原町</li> <li>伊江村</li> <li>今帰仁村</li> <li>読谷村</li> </ul>
--	--	---	--	---	--	--

〔注1〕沖縄県では、県下で地上戦が行われ、軍人以外の一般市民の死亡者が約10万人にもおよびました。このため「空襲や艦砲射撃など」に限定了被災状況を把握することがむずかしいので、

「50万人以上」の中には沖縄県の人数は含まれていません。〔注2〕沖縄県については、規模の大きかった1944(昭和19)年10月10日の空襲を受けたおもな市町村を記載しました。

この物語は戦争の悲惨さを次の世代に伝えるために、長岡空襲の事実に基づいて制作したフィクションです。したがって、この物語に登場した人物や団体などは実在しません。

写真：昭和館、毎日新聞社、松竹  
長岡市、長岡戦災資料館



総務省

～日本の空襲・戦災の記録を世代を超えて語り継ぐ～  
一般戦災ホームページ <http://www.sensai.soumu.go.jp/>

この本を読んで、感想や作文をお寄せください

**社団法人 日本戦災遺族会**

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-3 ダイアン麹町ビル4F TEL.03-3264-5287